

生体調節研究所 (昭和地区)

本研究所では、インスリンの分泌や作用の機構、膵臓インスリン分泌細胞の分化・再生、糖尿病・肥満症など生活習慣病の成因・病態生理の解明など、糖尿病関連の研究が盛んである。また、内分泌・代謝疾患の成因・病態の基盤となる、細胞内膜輸送、細胞間・細胞内シグナル伝達、エネルギー代謝・摂食調節、ストレス・炎症応答、エピゲノム制御といった、基礎的な研究分野でも大きな成果を上げている。これらの研究によって、生体調節の異常に基づく疾患の発症予防・病態制御に寄与したいと考えている。

研究部門

研究部門	分野
生体情報部門	遺伝子情報、細胞構造
病態制御部門	細胞調節、遺伝生化学、分子細胞制御、分子糖代謝制御、脳病態制御

附属研究施設

附属研究施設	分野
生体情報ゲノムリソースセンター	ゲノム科学リソース、疾患ゲノム研究
代謝シグナル研究展開センター	代謝シグナル解析、トランスレーショナルリサーチ
生体情報シグナル研究センター	分泌制御、生体膜機能



生体調節研究所



生体情報ゲノムリソースセンター



代謝シグナル研究展開センター

総合情報メディアセンター

総合情報メディアセンターは、本学の教育研究支援を目的とした、学術情報の収集と情報発信ならびに基盤の整備運用等のサービスを行う部局である。資料の整備、ネットワーク及び演習用端末の管理、電子ジャーナルの契約だけでなく、学生のための「学びの場」の提供に力を入れている。また、地域の学術情報センターとして、学外者利用などの地域貢献も行っている。加えて、情報化統括責任者(CIO)の下に組織された「情報化推進室」と緊密に連携し、本学の情報化と情報セキュリティ体制の強化を一元的に推進している。

図書館部門

図書館部門は、中央図書館(荒牧地区)、医学図書館(昭和地区)及び理工学図書館(桐生地区)で構成されている。

3館が連携・協力しながら、本学の学生・教職員及び学外利用者へのサービスを行っており、電子的資料の積極的収集や「群馬県地域共同リポジトリ(AKAGI)」の構築など電子図書館としての機能強化及び地域貢献に努めている。

蔵書数(平成28年5月1日現在) (単位:冊)

区分	中央図書館	医学図書館	理工学図書館	計
和書	277,509	68,564	84,965	431,038
洋書	56,516	59,337	69,140	184,993
計	334,025	127,901	154,105	616,031



中央図書館(荒牧地区)

情報基盤部門・事務情報部門

情報基盤部門は群馬大学学術情報ネットワーク(GUNet)、教育研究用計算機システムの管理運用を行っている。

GUNetは荒牧・昭和・桐生地区を10Gbps、太田地区と附属学校園を100Mbpsで接続し、本学災害対策データセンターから10Gbpsでインターネットへ接続されている。

教育研究用計算機システムでは、授業、演習等に利用される教育用端末の整備をするとともに、全学認証アカウントによる学内認証基盤を構築し、学内サービスの認証一元化を推進している。

事務情報部門は、事務情報ネットワーク、図書館情報システム、事務用電子計算機システムの管理運用を行っている。情報基盤部門と連携し、事務の効率化・情報化を推進している。

■全学ソフトウェアライセンス(ソフトウェアの無償配布)

学生、教職員が全学的に使用するソフトウェアの標準化と、その整備に係る経費の節減、並びに、ソフトウェアの不正コピーの防止を組織的に取り組むことでのコンプライアンス対策等を目的として、マイクロソフト社との間で「マイクロソフト包括ライセンス契約」を締結している。当該契約により本学の教職員及び学生は、個人のパソコンにも無償でWindowsやOfficeの最新バージョンを利用することができる。

■無線LANシステム

荒牧地区、昭和地区及び桐生・太田地区の建物で無線LAN接続環境を提供している。昭和地区では、ほぼ全域で利用でき、荒牧・桐生・太田地区では、主な利用可能な場所に右のステッカーを提示している。



※総合情報メディアセンターでは、上記に加え様々なサービスを提供している。サービスの詳細については、ホームページを参照。